

20. 脳神経外科（選択）

1. 一般目標（G I O）

病む人の苦痛を取り除くための、基本的診療能力を身につけ、治療法を適切に判断できる知識を有した、望ましい医師としての人格を涵養する態度を修得する。

・脳神経外科としての一般目標

一般的な疾患の中から神経疾患を適切に診断し、さらに脳神経外科的疾患を的確に鑑別し、初期治療を行える、または専門医に相談できる知識を身につける。

2. 行動目標（S B O s）

（1）態度・習慣

- 1) 患者および家族と適切なコミュニケーションをとり、何が問題かを把握する。
- 2) 守秘義務に配慮する。

（2）技能

- 1) 脳神経外科入院患者の病歴を取り、入院時の検査、問題点の整理を行い、入院後の検査等の計画を立てる。
- 2) 脳神経外科的救急患者の初期診断と処置、初期治療と管理を行う。

- ① 全身の理学的診察法
- ② 神経学的検査
- ③ 脳血管撮影検査や脳脊髄液採取法（腰椎穿刺）などの手技

3) 画像診断を行う。

- ① 神経放射線
(ア) C T、M R I、M R A検査
(イ) 脳血管造影検査
- ② 神経生理学
(ア) 脳波、誘発電位の読影

- 4) 周術期の管理を行う
- 5) 脳神経外科的な手技を経験する。

（3）知識

- 1) 回診、カンファレンスに参加し、症例呈示を行う。神経放射線的所見の説明を行う。
- 2) 必要に応じて他科、専門医に紹介する。

（4）経験すべき主要疾患

- 1) 頭部外傷
- 2) 脳血管障害
- 3) 脳腫瘍
- 4) 水頭症
- 5) 頭蓋内感染症
- 6) てんかん
- 7) 脳死

(5) 経験すべき治療法

- 1) 脳神経外科患者の基本的療養指導、薬物療法
- 2) 脳神経外科患者の基本的食事指導、生活指導
- 3) リハビリテーションの適応決定
- 4) 頭皮、顔面等の創処置（消毒、縫合、包帯法）
- 5) 気管切開患者の管理
- 6) 経鼻栄養チューブの挿入、交換
- 7) 心肺蘇生法

3. 方略

(1) OJT (on the job training)

救急室、病棟にて患者の診察を行う。手術室にて見学、補助を行う。

(2) カンファレンス

患者カンファレンスに参加する。

脳神経外科他施設とのカンファレンスに参加する。

(3) 学会

全国規模の学会に参加する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30～	外来カンファ	外来カンファ	外来カンファ	外来カンファ	外来カンファ
9:00～	外来	外来	外来	外来	外来
	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
9:30～	手術		手術		
13:00～		脳血管撮影		脳血管撮影	病棟カンファ
16:00 ～				リハビリカ ンファ (1回/月) 入院患者 カンファ	
16:30～	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診

4. 評価

(1) 形成的評価

- 1) 救急室や病棟での診察内容を上級医が評価する。
- 2) 患者カンファレンスで各患者の症例呈示を上級医が評価し、次の症例にフィードバックする。

(2) 総括的評価

- 1) 研修終了時に EPOC2 を用いた総括的評価を行い、達成すべき目標に到達したかを評価する。